



JASDAQ

平成 29 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 ジェイ・エスコムホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 嶺井 武則  
(JASDAQ・コード3779)  
問合せ先 業務管理統括本部課長  
丸山 博之  
(電話 03-5114-0761)

「雑誌「Soup.」の発行形態の変更並びに営業外費用及び特別損失の発生見込みに関するお知らせ」の一部変更について（開示事項の経過）

当社が平成29年2月17日付で開示いたしました「雑誌「Soup.」の発行形態の変更並びに営業外費用及び特別損失の発生見込みに関するお知らせ」の内容のうち、営業外費用及び特別損失の計上額に変更が生じたため経過をお知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、平成 29 年 2 月 17 日付で「雑誌「Soup.」の発行形態の変更並びに営業外費用及び特別損失の発生見込みに関するお知らせ」を開示しております。当該開示において営業外費用及び減損損失が発生する見込としておりましたが、営業外費用の発生は見込まれておりました造本費が取引先との協議によりなくなり、のれんの未消却残高に対する減損損失の発生に関しましても、出版関連事業の譲受時に計上したのれんについて回収可能性を慎重に再検討した結果、発生する額が変更となるものであります。

2. 営業外費用の発生見込みについて

(変更前)

雑誌「Soup.」のデジタル版への移行により既に発注されている雑誌の造本費の一部を負担する必要があります。そこで、当該造本費 3,500 千円について営業外費用として計上する見込みです。

(変更後)

全文削除

3. 減損損失の発生見込みについて

(変更前)

出版関連事業の譲受時に計上したのれんにつきまして、雑誌「Soup.」のデジタル版への移行に伴い回収可能性を慎重に検討した結果、回収不能額としてのれん未償却残高の一部である減損損失 62,191 千円を特別損失として計上する見込みです。

(変更後)

出版関連事業の譲受時に計上したのれんにつきまして、雑誌「Soup.」のデジタル版への移行に伴い回収可能性を慎重に検討した結果、回収不能額としてのれん未償却残高である減損損失 65,992 千円を特別損失として計上する見込みです。

4. 今後の見通し

雑誌「Soup.」の発行形態の変更に変更に伴う営業外費用及び特別損失の計上額の変更による平成29年3月期連結業績に与える影響は現在精査中であり、他の要因を含め修正が必要と判断される場合には速やかに開示いたします。

以 上